

高速道路のいろいろ

夏休み、秋の行楽シーズンと高速道路を利用して出かける方も多いですね。高速道路で気を付けたいことなどを紹介します。

高速道路は、山間部を通行することからトンネルも多いですね。トンネル内で事故やトラブルに巻きこまれた方は少ないと思いますが、トンネル内の「非常口」ってどうなっているか知っていますか？



トンネル内の非常口は、事故や火災といった緊急時の避難用通路として、一般的なトンネルでは300m間隔、長いトンネルでは750m間隔で設置されることが決められています。



避難通路には「避難連絡坑」と「避難坑」の2種類があり、「避難連絡坑」は並走する反対車線につながるトンネル、「避難坑」は地上へ脱出するため用のトンネルにつながっています。

緊急時に遭遇した場合は、車は、非常口や消火設備の前を避け、左に寄せて止め、非常通路内は案内に従って避難してください。

向きを間違えると、またトンネルに戻ってしまうことになることも…

高速道路は、しっかり車間距離をとっていますか？速度が速くなれば、止まるまでの距離が長くなります。

高速道路には、「0m確認基点」という標識が設置されています。高速道路では、はじめのうちは車間距離を保っていても速度に慣れてくると無意識のうちに車間距離を縮めてしまう場合があります。そこで「0m確認基点」を車間距離への意識を取り戻すきっかけにして、改めて車間距離を調整し見直す機会にしてください。



運転には、適度な緊張感が必要になり、疲れると注意力散漫になることも…「疲れた」と思う前にこまめな休憩を取ってください。高速道路の休憩というとSA・PAですね。今では、目的地がSAとなることも。ただ、トイレ休憩に使うだけではもったいないところもありますね。

高速道路では、速度に慣れてくると緊張感も薄くなってきますが、油断せず安全運転をしてくださいね。

